

「平和祈念事業」の実施報告について

- 1 日時 2025年8月6日(水)～8月11日(月・祝)
展示：10時から17時まで(土日は17時30分まで)
- 2 会場 国際版画美術館 講堂及び市民展示室B
- 3 参加者数 968人(2024年度550人、2023年度474人)

4 実施概要

戦後80年が経過し、原爆や空襲を受けたことのある方々は高齢化し、その体験を語り継ぐことが年々難しくなっている中で、当時を知る方から直接話を聞くという貴重な機会をつくることができました。

また、市民団体の協力を得て、紙芝居や朗読劇の形で戦争体験の継承を行うとともに、大学生が朗読に参加してもらうことで、若者にも戦争について考える機会となりました。

今年度は、戦後80年という時間の経過の中、あらためて戦争に関する歴史や実態を振り返るため、原爆の実相を伝える講演会に加え、「町田周辺にある戦争の遺構」を伝える講演会を行いました。

参加者からは、「参加して改めて戦争体験を学ぶことの大切さを感じました。来年以降もこうした企画を続けていただき、若い世代への継承の役割を担っていただきたい。」「紙芝居、戦争の遺構のお話を通して、戦争の歴史について考えられるきっかけになりました。現地に足を運んでみたいと思いました。」などの感想が寄せられています。

5 実施イベント

イベント名	来場者数
①【小学3年生以上向け】広島・原爆のお話&アニメ	47人
②【中学生以上向け】語り継ぐ広島原爆の実相「被爆体験を語り継ぐ、受け継ぐということ」	34人
③【中学生以上向け】語り継ぐ長崎原爆の実相&朗読劇	56人
④【小学3年生以上向け】町田にもある戦争の遺構&紙芝居	41人
⑤【小学3年生以上向け】上映会・広島原爆を伝えるアニメ「ヒロシマに一番電車が走った」	30人
⑥【親子参加】平和絵手紙を作ろう	13人
⑦戦時資料展・平和絵手紙作品展・一枚のハガキ展	366人
⑧原爆の図パネル展・サダコと折り鶴ポスター展	381人

6 報道

8月6日からケーブルテレビ・イツコム「地モトNEWS」内で放映されました。

7 当日の様子

① 広島・原爆のお話&アニメ



② 語り継ぐ広島原爆の実相



③ 語り継ぐ長崎原爆の実相&朗読劇



④ 町田にもある戦争の遺構&紙芝居



⑤ 上映会 アニメ
「ヒロシマに一番電車が走った」



⑥ 平和絵手紙を作ろう



⑦ 戦時資料展・平和絵手紙作品展・
一枚のハガキ展



⑧ 原爆の図パネル展・
サダコと折り鶴ポスター展

